

ダイバーシティ・コミュニケーション



動画

研修のねらい

現代社会における課題とダイバーシティの意義を確認し、ちがいに配慮したコミュニケーションと地域や組織におけるダイバーシティの推進について学びます。

受講対象者

県職員：140人

次のいずれかに該当する職員

- ・令和5年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員
- ・令和7年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和8年4月1日現在25歳以上の職員

市町村職員：100人

主任級以下の職員

配信時期：視聴時間

7月中旬～8月中旬（予定）

視聴時間：約3:00

備考

- ・R6「ダイバーシティ推進」と同様の内容です。
- ・【県職員のみ】（昇任試験受験要件対象研修）
※受講後、レポート提出が必要です。
- ・視聴時間はあくまで目安となります。カリキュラムの内容によっては個人ワークが含まれるため、受講者の取り組み状況により、実際の視聴時間は記載時間と異なる場合があります。



研修概要

（一財）ダイバーシティ
研究所

講師 田村 太郎

- ・「ちがい」に寛容な社会が求められる理由
- ・地域におけるダイバーシティ推進の意義
- ・知っておきたい分野別の取り組み
- ・ダイバーシティに配慮した住民施策とコミュニケーション
- ・組織におけるダイバーシティ推進の意義
- ・ダイバーシティを活かした組織運営の方法と課題



こんな人におすすめ

- ・ダイバーシティの推進や配慮について学びたい人
- ・ちがいに配慮したコミュニケーションを学びたい人



得られるスキル

- ・コミュニケーション力（共生のための配慮、課題解決力）
- ・情報収集能力（多様性理解、課題発見・問題分析力）



受講者の声

- ・ダイバーシティに配慮したコミュニケーションの方法や自治体に取り組むべき施策等を学ぶことができた。
- ・自分の職場でも課題であると感じたものがあった。